

目 次

ドライマーキング法によるサケの耳石標識の試み 飯田真也（資源管理部・さけます調査普及グループ）	3
日本海で採集されたクロマグロ仔魚の餌生物 森本晴之・井口直樹・児玉武稔（資源環境部生物生産グループ）	7
日本海沿岸の砂浜の立地環境と汀線域の二枚貝の分布 高田宜武（資源生産部生産環境グループ） 梶原直人（瀬戸内海区水産研究所生産環境部藻場・干潟グループ）	10
Topics 漁業調査船みずほ丸が気象庁から感謝状を授与	14

表紙の解説

日本海で捕らえたクロマグロの仔魚

写真撮影 長田暁子（元国際水産資源研究所 くろまぐろ資源部 くろまぐろ生物グループ）

このクロマグロの仔魚は、ふ化後12-14日、体長5-7mmで、2013年7月に島根県隠岐諸島の西側で採捕されました。この時期は、まだ骨格や鰭など体の構造が未完成で、天然海域においては減耗が最も大きいと考えられています。そのため、仔魚期の分布や餌料環境を把握して、減耗要因を解析することは、クロマグロの資源動向を探る上でとても重要な調査となっています。